

2023年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築施工概論											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	赤石 辰夫 他			実務経験	有	職種	施工管理／一級建築施工管理技士口				
担当教員紹介											
建設会社で現場監督として勤務し、2 階建ての信用金庫支店から 1 4 階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層RC 造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。											
授業概要											
施工業界の現状を学び、工事現場の見学を行い、実際の工事現場に触れて作業の流れや職人の動き方、安全に対する対策などについて体感し講義で再確認する。											
到達目標											
仮囲い・足場の知識と、必要な仮設機材・建設機械についての知識を身につける。また、施工図の写図を行うことで作図手順や必要な寸法の定め方を学び、施工管理業務の一端を知ることにより興味を深めることが到達目標である。											
授業方法											
基本的に自分で考えて施工に関する各種の計画やそれに応じた指示が出せるようになるため、個人ごとに作業をこなして作品にすることを積み重ねる。また、工事現場の見学を行い、実際の工事現場に触れて作業の流れや職人の動き方、安全に対する対策などについて体感し講義で再確認する。											
成績評価方法											
試験・課題レポート 平常点	60% 20% 20%	課題の成果物について総合的に評価する 現場見学の理解度を確認するために実施する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
実際の工事に関する情報を用いて講義が進むので、図面や現場の所在地・設計内容などについて守秘義務を守ること。資料の取り扱いにも注意を払い、無くしたり内容が流出することの無いように取り扱うこと。また現場見学の際は、事故が起きないように安全に注意し、第三者とのトラブルを避けるために必ず指示に従うこと。											
教科書教材											
2級建築施工管理技士 第一次検定テキスト											
回数	授業計画										
第1回	施工業界の現状について解説										
第2回	仮設計画										
第3回	重機の計画										
第4回	現場見学										
第5回	土工事、各種工事										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築施工概論	
第6回	コンクリート工事
第7回	鉄骨工事
第8回	内装工事
第9回	仕上げ工事
第10回	施工図①
第11回	施工図②
第12回	施工図③
第13回	施工図④
第14回	施工図⑤
第15回	施工業界の未来像について